

たてものをめぐる司書の部屋

みなさんは、巣鴨図書館に初めて訪れたとき、どのような印象をもちましたか？

窓辺の‘障子’は特色のひとつかもしれません。この障子は、10年前（2015年）の改修工事の折りにも残され引き継がれました。前庭の木々や草花と相まって「本のある家」を訪れたような親しみを感じさせます。

図書館のほか、博物館、美術館などでは、蔵書や展示物を守りながら、見やすく心地よい空間をつくる様々な工夫がされています。設計やデザイン、配置された椅子に至るまで、その場をかたちづくるひとの考えに触れ、心動かされます。

巣鴨図書館の周辺地区には、歴史があり佇まいも見事な建物がたくさんありますね。ここでは豊島区内に絞って、お勧めの3箇所をご紹介します。いずれも公開され、ひらかれた場であることも魅力のひとつです。*ご訪問前に、公開日時などをご確認くださいね。

◇ 自由学園明日館（国の重要文化財）

フランク・ロイド・ライトとその弟子にあたる遠藤新による設計。

◇ 雑司が谷旧宣教師館

（豊島区登録有形文化財、東京都指定有形文化財）

豊島区に現存する最古の近代木造洋風建築。

◇ 立教大学 第一食堂（東京都選定歴史的建造物）

「ハリイ・ポッターの世界に入ったよう」と感想を持つ方も。

散歩をしながら、こうした建物を巡る本 ※1、

建物の天井に注目した本（建物では上も！見てくださいね）※2、

建物の居心地よさとはなにか？ を考えた本 ※3 など、

ぜひ手に取ってみてください。直接出掛けて行けないときも、本のなかで名建築巡りを楽しんでくださいね。（K）

おすすめ本の紹介

※1 『山手線の名建築さんぽ』

和田菜穂子／著 エクスナレッジ

※2 『天井美術館』

五十嵐太郎／[編]著 菊地尊也／[編]著 グラフィック社

※3 『こちよさの建築』 光嶋裕介／著 NHK出版

巣鴨・大塚界限

その2 巣鴨地域文化創造館(中山道待夢)



第2回目は、巣鴨地蔵通り商店街のなかにある、巣鴨地域文化創造館を紹介します。

地域文化創造館は、地域の方々が文化・学習などの活動や、交流を通じて豊かな地域社会の実現のために活動する場です。区内に5館設置されています。（現在1館は改築のため休館中。）巣鴨地域文化創造館はその中で一番小規模な館となっています。

館内には会議室が3部屋と多目的ホール、展示コーナーがあります。入口正面にある展示コーナーでは自主グループ等の作品が展示されており、1か月ごとに展示が入れ替わります。近隣の教育施設と連携した展示も行われています。

また、区民講座（文化カレッジ）も年間10講座以上が実施されています。

開館中は展示コーナーへの出入りは自由です。絵画や工芸品など、時期により様々な展示がされていますので、巣鴨散策の際には是非立ち寄ってみてください。

住所 〒170-0002 豊島区巣鴨 4-15-11

電話番号 03-3576-2637

開館時間 8時45分～21時 敷地内にはすがもんのおしりもあります



《編集後記》

5月下旬まで皆さまの「あなたの推し本の忘れられない1冊」を募集しておりました。ご応募ありがとうございました。好きな本、いつも手元に置いておきたい本の中から1冊を選ぶとなると迷いますよね。皆さまのとおきのおきの1冊は巣鴨図書館の入口脇の特集棚に集めてありますので、手に取ってみてください。誰かの1冊があなたの特別な1冊になるかも！（Mi）

すがもらいぶらり

2025年7月1日発行（年6回2・3・5・7・9・11月の1日発行）

今年の夏も暑くなりそうです。今年も巣鴨図書館は「すずみ処」としてご利用いただけます。給水機を1階に設置しておりますので、マイボトルをご持参になってください。

また、今年の夏も、地下1階での七夕飾り・児童向けのこども夏フェスを企画中です。すがもがーでんの植物も成長中。イベントの募集、がーでんの様子など特に注目していただきたい情報に関しては、4月より導入されたデジタルサイネージでも発信中です。是非デジタルサイネージにもご注目ください。（館長）



巣鴨図書館ニュース

ちょっとまだ気が早い？のですが、夏も児童向けイベント盛りだくさんです。毎年ご好評いただいているクイズやスペシャルおはなし会、子ども司書体験などなど。ぜひご家族で図書館をご利用ください。

すがもとしょかん 2025 こども夏フェス!

- ① 図書館タンテイ『すがもとしょかんからの挑戦状～キミも本の世界でたべものなぞをときあかせ』
期間:7月26日(土)～8月3日(日)
本をつかってクイズを解こう！プレゼントもあるよ☆
- ② 特集展示『平和について考えよう』
期間:7月26日(土)～8月21日(木)
- ③ 調べもの応援!『自由研究 お悩み相談室』
日時:7月22日(火)10時30分～12時
対象:小学生 予約・抽選にて5名
- ④ 『めざせ!子ども司書』図書館のお仕事を体験しよう
日時:8月7日(木)13時30分～16時
対象:小学5、6年生 予約・抽選にて5名
④⑤とも7月8日(火)より巣鴨図書館カウンター、もしくはHPの受付フォームより予約開始します。
- ⑤ 夏のスペシャル『おばけのおはなし会』
日時:8月24日(日)11時～11時30分
先着25名
きみは最後までおはなしを聞くことができるかな？

お問い合わせは巣鴨図書館児童担当
TEL:03-3910-3608 まで

忘れられない1冊



みなさんの心に残っている本、なぜか忘れられない本を集めました。だれかの思い出の1冊を読んでみませんか？

『蜜蜂と遠雷』

恩田陸／著 幻冬舎 2016.9

ISBN:978-4-344-03003-9

理由:ピアノコンクールの話で、本を

読んでいるのに音がある様な臨場感
があり心に残っています。

『かがみの孤城』

辻村深月／著 ポプラ社 2017.5

ISBN:978-4-591-15332-1

理由:苦しんでいる子たちの気持ちがよく
わかった。謎ときもわくわくした。



『校閲記者も迷う日本語表現』

毎日新聞校閲センター／著

毎日新聞出版 2023.9

ISBN:978-4-620-32790-7

理由:日本語はむずかしいけれどいつの間にか
変わっているなと思います。勉強～。

『鬼の筆』

－戦後最大の脚本家・橋本忍の栄光と挫折－』

春日太一／著 文藝春秋 2023.11

ISBN:978-4-16-391700-9

理由:脚本家橋本忍の生前のインタビュー等がま
とめられている。映画「砂の嵐」の舞台裏
がおもしろかった。

『仏教の未来年表』

鵜飼秀徳／著 PHP研究所 2024.10

ISBN:978-4-569-85804-3

理由:仏教の今後について考えさせられます。日本
の未来が見えてきます。

『わたしのげぼく』

上野そら／作 くまくら珠美／絵

アルファポリス 2017.7

ISBN:978-4-434-23631-0

理由:後半の展開に泣けた。猫って飼い主に
こんな風に思っているのかな～と思った。

『悪童日記』

アゴタ・クリストフ／著 堀茂樹／訳

早川書房 1991.1

ISBN:4-15-207704-2

理由:でてくる人みんながいい人ではないのに、
その生命力に圧倒されます。

『終わらざる夏』

浅田次郎／著 集英社 2010.7

ISBN:978-4-08-771346-6【上巻】

ISBN:978-4-08-771347-3【下巻】

理由:読後感は大変重いですが沢山の人の読んで
ほしいです。戦争の恐ろしさを本当に実感します。



『こいぬとこねこのおかしな話』

ヨゼフ・チャペック／作

木村有子／訳

岩波書店 2017.5

ISBN:978-4-00-114240-2